

令和7年度 第3回朝倉市地域公共交通活性化協議会

日時 令和7年10月28日(火)14:00～

場所 ピーポート甘木 第2学習室

(次 第)

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

(1)報告事項

①運賃協議分科会(甘木市街地循環線)の報告について(P1)

②あいのりタクシーの契約更新について(P2)

・馬田線 ・福城線

・矢野竹線 ・美奈宜の杜線 ・長湊線

(2)協議事項

①第2期朝倉市地域公共交通計画の策定について(P3～7)(別冊)

(3)その他

4. その他

(1)次回日程 令和7年12月頃を予定(会場未定)

5. 閉 会

(1) 報告事項①運賃協議分科会(甘木市街地循環線)の報告について

令和7年度 朝倉市地域公共交通活性化協議会
第2回 運賃協議分科会

日時 令和7年10月28日(火) 13:30～

場所 ピーポート甘木 第1学習室

(次 第)

1. 開 会

2. 委員構成について

(1) 市民又は利用者の代表

- ・朝倉市区会長理事会;梅本 勝博 委員
- ・朝倉市コミュニティ協議会会長会;床嶋 春樹 委員

(2) 一般乗合・乗用旅客自動車運送事業者(当該協議する運賃等に関する事業者に限る。)

- ・矢野タクシー(株) 矢野正洋 委員

(3) 国土交通省九州運輸局福岡運輸支局長又はその指名する者

- ・九州運輸局福岡支局;永松 靖二 委員(代理 辻 美貴善)

(4) 朝倉市長又はその指名する者(分科会の代表)

- ・朝倉市;佐々木 哲治 委員

3. 運賃協議(甘木市街地循環線)

- ・運行内容等変更に伴う運賃協議 R7.6.26 承認済み。
- ・運賃(案)

現行どおり(下記のとおり)

●大人・・・12歳以上(中学生以上) 100円

小児・・・6歳以上12歳未満(小学生) 50円

幼児・乳児 無料

※半額:身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳保持者及びその介助者

4. あいのりタクシーの市役所移転に伴い路線変更を行う下記路線の運賃協議分科会の開催について

- ・上秋月・安川線 ・馬田線 ・福城線
- ・矢野竹線 ・美奈宜の杜線 ・長湊線

○開催を要しない軽微な事案として取り扱うものとする。

均一制運賃を適用する路線において、系統変更に伴う停留所の新設や変更、路線の付け替えや一部延伸があった場合でも、運賃額に変更がない場合

(今後、同様な案件が発生した場合についても、同様な取り扱いとする)

5. 閉 会

(1) 報告事項 ②あいのりタクシーの契約更新について

あいのりタクシー馬田線、福城線、矢野竹線、美奈宜の杜線、長渕線は令和8年3月31日を以て契約が終了します。
令和8年4月1日からも同様の運行内容で契約更新を行い、順次区域運行への移行を目指しています。

各路線の見直しスケジュールは以下の通りです。

	R7年度					R8年度					R9年度					R10年度					R11年度					R12年度																			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月									
馬田	馬田線					馬田線（契約更新）										南陵エリア 実証運行										南陵エリア本格運行																			
福田、蜷城	福城線					福城線（契約更新）																																							
三奈木	矢野竹線					矢野竹線（契約更新）										三奈木エリア 実証運行										三奈木エリア 本格運行																			
美奈宜の杜	美奈宜の杜線					美奈宜の杜線（契約更新）																																							
金川	長渕線					長渕線（契約更新）																																							
上秋月、秋月 安川	上秋月・安川線										上秋月・安川線（契約更新）																																		

※区域運行とは、自宅から目的地の玄関先まで行くことができる予約制の公共交通です。複数の予約が入った場合は、あいのりをしながら運行します。

※長渕線、上秋月・安川線については、見直し後のエリアを調整中ですので、点線として記載しています。

意見・質問書 集約

計画【素案】		修正・指摘事項	修正案	意見・質問等	対応
ページ 番号	行				
		「本市」と「朝倉市」の使い分け			朝倉市に統一。 P11課題4現状中「本市においては、」削除 P11課題5現状中「本市における」削除 P12課題6課題中「本市」⇒「朝倉市」
		ですます調にそろえる。			P11課題4現状中最後「されている。」⇒「されています。」 P14.2行目「定める。」⇒「定めます。」
1		「第2期朝倉市地域公共交通計画」、「交通計画」「計画」「本計画」の使い分け	「第2期朝倉市地域公共交通計画」(以下「交通計画」)		P1修正案に修正。 P2「本計画」⇒「交通計画」(2箇所) P3.17.28.29(2箇所)「本計画」⇒「交通計画」 P29「計画」⇒「交通計画」(3箇所) P29「第2期計画」⇒「交通計画」
1	(2)計画の目的	「地域公共交通と一体となるまちづくりとの連携を図りながら、」		わかりづらい	P1「地域公共交通と一体となるまちづくりとの連携を図りながら、」⇒「地域公共交通とまちづくりとの連携を図りながら、」
2		観光の計画は取り入れないのか			朝倉市では、観光計画が策定されていないため、P17基本方針2で「観光施策などの地域戦略と一体となり」と記載、また、P20施策①－1の取組内容の③を追記。 P24表中③を追記。
3	4	～するため、都市機能の誘導	～するため、居住や都市機能の誘導		P3修正案に修正。
3	中段青口内			表題として、 【朝倉市都市計画マスタープラン】 など加えてはどうか。	前頁で上位計画にあることを位置付けておりここではより具体的な計画である立地適正化計画との連携を図るものとする。
3	下段表3	考え方を目指し、道路整備、既存道路の改良により、	考え方にに基づき、必要に応じて道路整備を推進し、既存道路の改良により、		P3修正案に修正。

4		これらの計画からは、地域公共交通には以下に示すような役割が求められていると考えられます。		市が策定した計画なので、「求められています。」などの表現が良いのでは。	P4「求められているものと考えられます」⇒「求められています。」
7.18		西鉄バス路線は2路線			P7「西鉄バス1路線(甘木幹線)⇒「西鉄バス2路線(甘木(都市高速)博多線、甘木幹線)」
					P7「西鉄バスが運行する甘木幹線は」⇒「甘木(都市高速)博多線、甘木幹線」 表追記、便数修正
8		高速バス便数修正			P8表中高速バス便数修正。
8					P8④「朝倉市では、」削除
9					P9⑤「朝倉市」⇒「市内」
9	表 3 9	地域拠点	地域生活拠点		P9修正案に修正。(3箇所)
10		前計画		何を指しているのかわかるか。	目次(2箇所)、P10「前計画」⇒「前交通計画」
10		・P10の2-2の「現状」とは、いつの時点(前計画策定時点?計画完了時点?現時点?)のことでしょうか。同様に課題についても現在の課題なのか、前計画の課題なのか分かりません。			P10.12導入を記載します。
12		アンケート調査の説明が不十分	対象人数、回答者数、調査項目を記載。		P12アンケート調査の詳細については、巻末の資料編に đăng載します。
10～		課題の整理が抽象的過ぎる印象。固有名詞を使用したり、持続可能という観点から、施策、運賃、など具体的な計画を作成する際の検討			P10「鉄道」⇒「西鉄甘木線、甘木鉄道」 「路線バス」⇒「西鉄バス甘木(都市高速)博多線、甘木幹線、甘木観光バス田主丸線、高速バス日田福岡線」 P10「交通結節点」⇒「甘木駅、甘木バス停などの交通結節点」

11		公共交通による移動手段の確保が望まれており、公共交通を利用したくなる環境づくりや市民の公共交通に対する意識づくりが必要です。		意図が伝わる？	P1「市民の公共交通利用に対する意識づくり」⇒「全体で地域公共交通を支える、育てるという意識づくり」 P11「市民の公共交通に対する意識づくり」⇒「全体で地域公共交通を支える、育てるという意識づくり」 P23施策③-1取組内容②⇒「市民、交通事業者、行政との意識を共有するため、地域コミュニティをはじめ地域団体等との協働により、全体で地域公共交通を支える、育てるという意識づくりを図ります。」 P28「意識の醸成」⇒「意識づくり」
14	追加 2 ページ	◇第3章 基本的な方針について・基本的な方針として、5年後の目指すべき交通像の概要図を入れるべきだと思います。 （どこの路線が幹線で、どこが支線か。また、将来的にどの地区にAIオンデマ（やライドシェア）を入れるのか、など） ※補助連動パンフレットP2のように図面を載せないとフィーダー補助の対象となりません。			P15.16追加 概要図、位置付けを掲載します。
17				課題10は、第2章現状と課題では課題9に含まれている。2つの課題として分けるか、1つに統一するか、書きぶりを整理すると分かりやすくなるのでは。	P19課題10⇒課題9 2次交通の確保、乗継の利便性向上（2箇所） P18「課題1～10」⇒「課題1～9」
18		鉄道の観光客の利用視点			P20施策①-1取組内容に追記 ③観光施策と連携した環境整備 観光施策との連携を図り、国内のみならず外国からの観光客に対応するため、多言語化車両等、訪日外国人旅行者の受入環境整備に資する車両の整備に取り組みます。

18		・P18について、甘木バス停、杷木バス停、甘木駅を交通結節点にした理由(立地適正化計画?)は何でしょうか。また、「あらゆる公共交通」とは具体的に何でしょうか(今ある公共交通?それ以外?)具体的な方針を説明する内容を記載されてはいかがでしょうか。			P21 「あらゆる公共交通」⇒「路線・系統の異なる公共交通」 「交通結節点」;複数の路線が接続されている。
	施策①-4	サイクル&ライドも推進したほうがいいのではないかな。	施策①-4 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進		P21 修正案のとおり。 P14, 19, 24 修正。 取組内容①修正。
18		・P18について、P&Rについて、現在既に実施済みなのではないでしょうか?もしくは、今後、整備を行うものなのではないでしょうか。具体的にどこをどのように整備する(している)のかが分かるように記載した方がよいと思います。 また、P&Rを行うことによってどの公共交通機関の利用者どのように増やすのかを具体的に記載してはいかがでしょうか。 (例えば、甘木駅近くに駐車場、駐輪場を整備し、鉄道利用及び秋月線、田主丸線の乗降客数の増加を目指す、など)			P21 施策①-4取組内容② 駅前広場整備に伴う駐車場や駐輪場の施設整備により、利用環境の充実を図り、鉄道利用及び秋月線、田主丸線の乗降客数の増加を目指します。
19		施策②の3、担い手不足		自動運転なども記載してはどうか	P22「ライドシェアをはじめ」⇒「ライドシェアや自動運転など」
19		施策②の3、担い手不足	実施までやってほしい		実施までを記載。P22.24「実施」を追記。
21		指標2実績値修正			P25 指標2実績値修正
22		指標2担い手不足で、バス路線はやや減便傾向になっていかなるをえない中で、目標値の設定を便数にするのは達成が厳しい	便数ではなくて、1便あたりの輸送人員など沿線人口を考慮		目標としては、現状維持を目指したい。また、アンケート調査による便数の不満割合が高いことや前計画からの比較を行いたいため、修正なしとしたい。

		指標2 目標値;運行便数	目標値;乗降客数に変更		上記同様。
23	指標1	西鉄甘木線、甘鉄甘木駅の乗降客数		路線名と駅名混在	P14.25「西鉄甘木線、甘鉄甘木駅の乗降客数」⇒「 西鉄甘木線、甘木鉄道における鉄道駅での乗降客数 」 表中実績値、目標値修正。
23	指標1	西鉄甘木線、甘鉄甘木駅の乗降客数		【R12目標値】の西鉄甘木線は合計の数値が良い。	P25 目標値 については、合計の数値に修正。
23	指標2 表題	西鉄甘木幹線	西鉄 バス 甘木幹線	指標1で「西鉄甘木線」が出てくるため、バスだと分かりやすく。	P14.25 修正案 に修正(2箇所)
23		指標5利用者1人当たりの市財政負担額を135%以下に抑制		抑制とはどういう意味か。	人口減少が見込まれる中、近年の物価高騰などを鑑みると、経費の増加は確実である。このような状況のなか事業運営の効率化や利用者の増加を図り経費の抑制に努めるものである。
				利用者負担、運賃の値上げはしないのか。	様々な価格高騰による経費増加の中、受益者負担の観点からも運賃の改定は必要だと考えており、新たな交通の導入のタイミングで検討していく。
23		指標5 利用者1人当たりの市財政負担額		「利用者1人当たり」が、市民1人当たりなのか、コミュバス利用者1人当たりなのかを明示してはどうか。	設定方法の欄に記載。
23	指標6	どんな市民アンケートかわからないので、市民アンケートの説明を記載。			P27 市民アンケートの詳細は、資料編を参照ください。 を追記。 目標値設定の根拠、考え方については、巻末の資料編に登載します。その中でアンケートの詳細な説明を記載します。
23	指標7	免許証自主返納申請者数の目標値の根拠は何か。			目標値設定の根拠、考え方については、巻末の資料編に登載します。
26	図	交通事業者 →行政「運行支援」 行政 →交通事業者「連携・協力」		交通事業者 →行政「 連携・協力 」 行政 →交通事業者「 運行支援 」 ではないか？	P28 意見のとおり修正。